

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	トークネットホール仙台（仙台市民会館）
2	指定管理者	東北共立・陽光ビル企業体
3	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 207,001人（前年度比 97.3%） 《過去3年間の推移》 ・平成28年度 212,751人 ・平成27年度 184,775人 ・平成26年度 245,594人
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 223,872千円 （225,540千円） ・ その他市が負担した費用 16,954千円 （18,376千円） 《収入》 ・ 使用料収入 62,862千円 （68,322千円） ・ その他収入 515千円 （553千円） （ ）は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート（平成29年6月、平成30年2月） ・利用者懇談会（平成30年2月14日、3月20日） ・施設利用者への使用状況調査票配付 他

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解している。 ・施設の管理運営を通して、施設目的を達成している。 ・情報を守るための対策を行っている。 	S
II 施設の運営管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務実績や配置状況も適切で、事業計画のとおり開館している。 ・指定管理料が適切に執行されている。 ・セキュリティ対策も実施している。 	S
III 施設・設備の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者のできる範囲において、概ね良好な建物・設備の管理、安全性の確保及び機能の保持、備品の管理、利用者が快適に利用できるような状態の保持、新・仙台環境行動計画に則った取組みの実施、外構の保守点検、清掃業務の適切な実施、利用者が快適に過ごせるような景観の保持がなされている。 	S
IV サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用して気持ちのよい接客マナー・利用しやすい受付案内の実施・利用情報の提供と広報誌やPR誌の作成・格差が生じない施設サービス水準の確保・意見や苦情を抽出して対応するしくみや体制を整備して、寄せられた意見や苦情への適切な対応・利用者からの意見や課題がある場合への対応策を講じる等、適切な対応を実施している。 	S
V 施設固有の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民や組織、事業者と良好な関係を維持している。 ・仕様書に定める施設運営、施設管理、その他市長が必要と認める業務を適切に実施している。 ・指定管理者が提案した内容について実施している。 	A

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1	社会貢献活動	自主企画事業「復刻の音色」実施に合わせ、震災復興を目的とした募金活動を行い、来場者から寄せられた寄附金を「仙台ふるさと応援寄附」に納付している。平成29年度は3回の実施で計35,014円を納付した。
2		
3		
加点評価		A

四 評価総括

《指定管理者（東北共立・陽光ビル企業体）による自己評価》
<p>本年度も当団体の事業方針である「人が集い賑わいのある街のステージ」実現に向けて、確実な運営管理を第一に、魅力的な自主企画事業の実施、施設の積極的なPR、幅広い芸術文化情報の提供等、創意工夫のある取組みによって設置目的に貢献するよう努めました。</p> <p>施設運営は市民会館が公の施設であることを念頭に、市の職務代行者としてすべての利用者に公正・公平・平等に行いました。施設管理においては、日常的な衛生美化と省エネルギーに努めると共に、避難誘導灯の更新や冷温水器の復旧工事等、施設機能の維持に関する修繕を最優先に実施することで利用者の安心・安全を確保しました。また利用者から寄せられた要望を基に、階段への手摺り増設工事等を実施した他、当団体が提案しておりました小ホール客席への防災頭巾の設置、屋外へ移設したAEDへの夜間管理システムの導入を実施し、来館者をはじめ地域住民の安心・安全にも広く貢献できるよう取り組みました。</p> <p>自主企画事業では、平成21年度より継続して取り組んでいる、ロビーコンサート「復刻の音色」を年3回実施しました。震災からの“心の復興”をテーマに、計10名の演奏者が演出を交えながら様々な楽曲を披露し、来場された約400名の方に音楽を通して心豊かなひと時をお過ごしいただきました。また舞台芸術への興味関心を促すと共に、市民会館に一層の親しみを感じていただけるよう、当団体の特色である舞台技術を活かした2つのワークショップを実施しました。「舞台技術講座2017」では、同日開催の「復刻の音色」と連動して舞台・照明・音響の基礎を学習した他、希望者にはそのまま本番操作を体験していただき、裏方として公演を支える充実感と緊張感を味わっていただきました。親子参加型の「光と色のワークショップ」では、工作という身近な作業を通して子供たちが気軽に光と色の不思議に触れられる機会を創出しました。</p> <p>予約受付業務に関することでは、新たな愛称「トークネットホール仙台」の運用開始に伴い、各申請書類や利用案内等を更新した他、応対時にはこの愛称を用いる等、利用者・市民への定着を図っているところです。また平成30年8月からの大規模修繕工事に係る休館期間が確定しましたので、窓口において休館中の予約受付や貸出再開に関すること等、丁寧な説明を行うことで利用者からの理解を得るよう努めております。</p> <p>最終的な貸出実績に関しては、展示室の貸出区分が平成28年度から変更になり、本年度は従前の「区分貸し」と変更された「時間貸し」の予約が混在する年となりました。最終的な数字の合計は昨年度と同水準に落ち着きましたが、「時間貸し」の方が枠ベースでの利用率が向上しており、市民の需要に即した変更だったと感じます。また大小ホール及び諸室関係の利用件数が減少となりました。1件あたりの利用者数は増加したため、全体での利用者数は昨年度比3%弱の減に止まりましたが、この結果を真摯に受け止め、新規利用者の獲得と利用者満足度の向上に努める所存です。</p> <p>平成30年度及び31年度は長期休館による利用者への影響を最小限に抑えるよう、円滑な貸出再開に向けた確実な受付、設備機器類の適切な維持管理に取組み、貸出再開後のトラブル防止に努めてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>適切な修繕と施設運営が実施されているほか、利用者の満足度の向上や施設利用上の安全性を向上させるための取り組みとして、広瀬川沿い遊歩道の舗装の一部修繕や、小ホール座席への防災頭巾設置を行うなど、安全・安心かつ快適な利用環境の維持構築に努めていることを評価する。</p> <p>自主企画事業においては、参加型の親子で楽しめるワークショップの開催や鑑賞型の復刻の音色シリーズの継続開催のほか、市民会館前広場を活用した「Jozenji Park Westマルシェ」の開催にも積極的に協力するなど、市民会館としての資産を有効に活用し、潜在需要の発掘に努めたことを評価する。</p> <p>また、平成30年度に実施する改修工事に伴う全面休館については、適切な事前告知と窓口での丁寧な説明によって利用者からの理解を得るよう努めたことについても評価する。</p>	S